

# 第4次千葉県国土利用計画の変更案について

平成26年9月17日

千葉県国土利用計画地方審議会資料

# 第4次千葉県国土利用計画（県土のランドデザイン）の現行案の概要

## 計画期間

県国土利用計画 計画期間 ……平成20年～平成29年

## 計画の基本目標

- 1 県民一人ひとりが豊かさを実感し、愛着を持って暮らすことのできる県土利用
- 2 地域が個性や特色を生かしながら、発展を続けていくことのできる持続可能な県土利用

## 県土利用の基本方針

- (1) 多様な主体との連携・協働による県土利用
- (2) 県土の質的向上・有効利用
  - ①健全な循環が維持され地球温暖化を防止する社会の構築、
  - ②安全で安心できる暮らしの確保、
  - ③良好な景観の保全・形成、
  - ④人と自然との共生、
  - ⑤地域の多様性・魅力を生かした活力の創出、
  - ⑥世界に開かれた県土利用

## 県土の利用目的に応じた区分に係る基本的な方向

- (1) 県土の利用目的に応じた区分ごとの基本的な方向
  - ①農用地②森林③原野④水面・河川・水路⑤道路⑥宅地⑦その他
- (2) 県土の利用目的に応じた区分横断的な課題への対応

# 千葉県国土利用計画の見直しに係る基本方針

## 1. 基本的な構成について

国土利用計画において都道府県計画は、国土利用計画法に基づき、全国計画を基本として策定することとされていることから、基本的な構成の変更は行わない。

## 2. 新総合計画との整合について

新総合計画において新たに示された県政の方向性をふまえ、計画全体の記載内容を見直す。

## 3. 「県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」について

計画策定時における目標数値について、現時点で既に実態と合わせる必要がある土地区分について、目標数値を再設定する。

# 「第4次千葉県国土利用計画」変更案の主な内容

## 1 総合計画との整合を図った主な例

### ●豊かな生活を支える食と緑づくり〔戦略的な産地強化と高収益型農林水産業への転換の促進〕（総合計画 P212）

総合計画において、農業施策として、戦略的な産地強化と高収益型農業への転換の促進により、「農林水産王国・千葉」を目指しており、これを実現するために、消費者ニーズに合った農産物を提供できる生産力の強化や農産物等のブランド化を図ること等が重要であるとしている。このため、国土利用計画においては、地域における生産性や消費者ニーズなどを踏まえ、地域特産品のブランド化、第6次産業化の促進や海外輸出を含めた販路拡大等について関係するゾーンに記載した。

〔7 計画を実現するための措置と推進体制 P45〕

〔6 地域別に目指す方向性 P32 P34 P36 他〕

### ●活力ある県土の基盤づくり〔交流基盤の強化〕（総合計画 P226）

道路については、全国や県内各地との交流・連携の強化や、災害に強い県土づくりに資する広域的な幹線道路ネットワークを整備し、利便性の向上を図り、交流を活発にすることを目指している。このため、アクアライン、圏央道、北千葉道路などの整備状況を記載し、道路整備に伴う経済や産業などへの波及効果に関係するゾーンに記載した。

〔4 県土の利用目的に応じた区分に係る基本的な方向 P15〕

〔6 地域別に目指す方向性 P30 P35 P37 他〕

### ●自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり〔災害に強いまちづくりの推進〕（総合計画 P86）

東日本大震災による津波により、本県でも甚大な被害が発生したため、津波対策を強化している。このため、数十年から百数十年に一度程度来襲が予想される津波に対する整備の推進について記載した。

〔7 計画を実現するための措置と推進体制 P50 P52〕

# 「第4次千葉県国土利用計画」変更案の主な内容

## ●自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり〔地域防災力の向上〕（総合計画 P80）

東日本大震災の発生により、本県でも甚大な被害が発生したため、自助・共助・公助が一体となって、県全域区の防災力の向上を図ることとしている。このため、防災教育の推進等の施策について記載した。〔7 計画を実現するための措置と推進体制 P43〕

## ●2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえた地域振興〔基本構想〕（総合計画 P30）

本県では、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を生かした地域活性化と魅力発信を目指しており、この施策を実現するためには、圏央道の整備や成田国際空港の機能強化をこれまで以上に強く国に働きかけるとともに、安全で快適な大会運営に最大限協力することが必要であるとしている。このため、この旨を県土利用の基本方針に追加するとともに、大会を支える基盤整備の加速等について記載した。

〔3 県土利用の基本方針 P11〕

〔7 計画を実現するための措置と推進体制 P47〕

## ●地域別ゾーンの見直しに伴う記載内容の修正（総合計画 P52）

総合計画における地域ゾーンとの整合を図ることとし、各ゾーンに応じた記載内容へ修正した。

〔6 地域別に目指す方向性 P24～P41〕

## 2 「規模の目標」の再設定

農用地の規模の目標について、現状を鑑み約130,000haから約126,000haに変更した。

〔5 県土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標 P21〕

※この他、社会経済情勢等の変化に伴う必要な修正を実施している。

# 「第4次千葉県国土利用計画」変更案の主な内容

## 3 前回の審議会が出た委員の意見を踏まえて変更した主な例

### 1 計画策定の背景 (2)経済社会状況の変化 ④安全・安心な暮らしの確保の必要性 (P3 3行目)

災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることを認識し、「減災」の視点に立ち、災害に強い社会資本の整備や耐震化を進めるとともに、災害時においては情報の収集や提供を行い、たとえ被災したとしても人命、県民の財産が失われないよう県民の生命・身体・財産が守れるよう災害時の被害を最小化することが必要です。

### 3 県土利用の基本方針 (3)県土の質的向上・有効利用 ②安全で安心できる暮らしの確保 (P9 1行目)

そのため、災害発生の未然防止や発生時の被害を最小限にとどめるために、県、市町村、警察、消防等の各関係機関が相互的・計画的にハード面の整備を推進するとともに、ソフト施策を展開し、自然災害に強い県土の形成を図っていきます。

津波に対しては、人命を最優先とし、減災の視点から多重防御に重点を置き、避難を軸としたソフト対策とハード対策を組合せ、総合的な津波対策を推進します。

また、自分の身体・財産は自分で守る「自助」や家族・近隣住民がお互いに助け合う「共助」の意識・動きを高めるとともにこれを支援し、地域における人々の暮らしや安全を守る力を強化していきます。

### 7 計画を実現するための措置と推進体制 (1)計画を実現するための措置 ②県土の質的向上・有効利用の促進

#### イ 安全で安心できる暮らしの確保 (P43 下から6行目)

…、防災マップの作成、防災知識の普及、災害時における情報の収集及び提供等を推進します。

なお、県では津波からのハード面における多重防御として、河川、海岸の堤防嵩上げや土塁・保安林などの整備を推進します。

さらに、地域における「自助」や「共助」の力を高めていくため、自助・共助の防災意識を高める防災教育の推進や自主防災組織の育成強化等に努めるとともに、県民や事業者、県・市町村などの役割や取組事項を明らかにした「防災基本条例」…

# 「第4次千葉県国土利用計画」変更案の主な内容

## 4 国・市町村・パブリックコメントの意見結果を踏まえて変更した主な例

### 6 地域別に目指す方向性 (2) 空港ゾーン (P31 下から3行目)

このため、圏央道、北千葉道路、圏央道のインターチェンジと成田国際空港を結ぶ国道296号や県道成田小見川鹿島港線などの整備や北千葉道路、圏央道にアクセスする国道296号や成田国際空港にもアクセスする県道成田小見川鹿島港線などの道路ネットワークの強化を図りつつ、周辺市町等と連携して空港機能を活用した地域振興に取り組むとともに、成田国際空港周辺地域における国際物流機能等の集積を図ります。

### 6 地域別に目指す方向性 (3) 香取・東総ゾーン (P32 下から5行目)

また、犬吠埼や屏風ヶ浦、九十九里浜等の風光明媚な海岸線といった美しい自然環境や景観に恵まれていますとともに、海水浴やサーフィン等のマリンスポーツも盛んです。

### 6 地域別に目指す方向性 (3) 香取・東総ゾーン (P33 5行目)

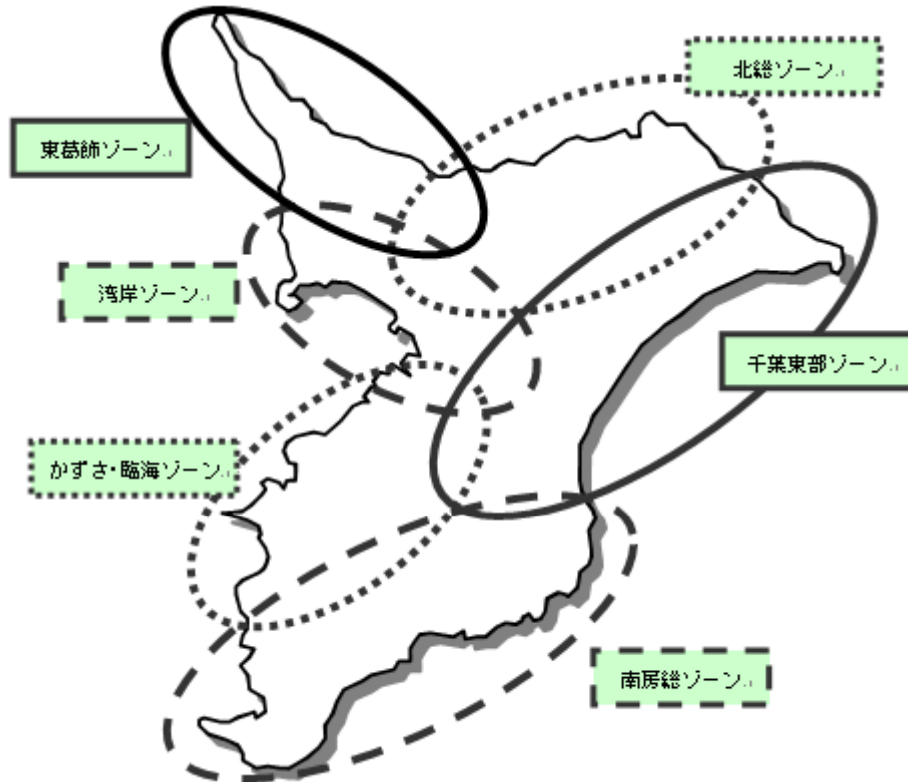
本地域では、全国有数の水揚げを誇る銚子漁港、海岸景観そして県内有数の農業地帯といった特色ある地域資源を有しており、酒造業醸造業や水産加工業も盛んであるほか、歴史・文化遺産を生かした観光産業が展開されています

### 6 地域別に目指す方向性 (3) 香取・東総ゾーン (P33 下から13行目)

今後は、圏央道の茨城県の稲敷IC神崎IC から大栄JCTまでの区間の開通により、茨城県のみならず北関東や東北方面からの玄関口となり、また、LCC(ローコストキャリア)の就航や新規路線の開設などの新しい動きが活発化している成田国際空港への近接性も相まって、交流・連携のポテンシャルが飛躍的に高まることも期待されることから、東北方面との連携や、成田国際空港を中心とする広域的な人・物・財の流れを積極的に取り込み、地域活力の向上につなげることを意識しつつ、産業…

## 千葉県国土利用計画の地域ゾーンの変更案

第4次千葉県国土利用計画



※各ゾーンは以下の市町村を中心としています。

東葛飾・・・松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市及び鎌ヶ谷市

湾岸・・・千葉市、市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市及び四街道市

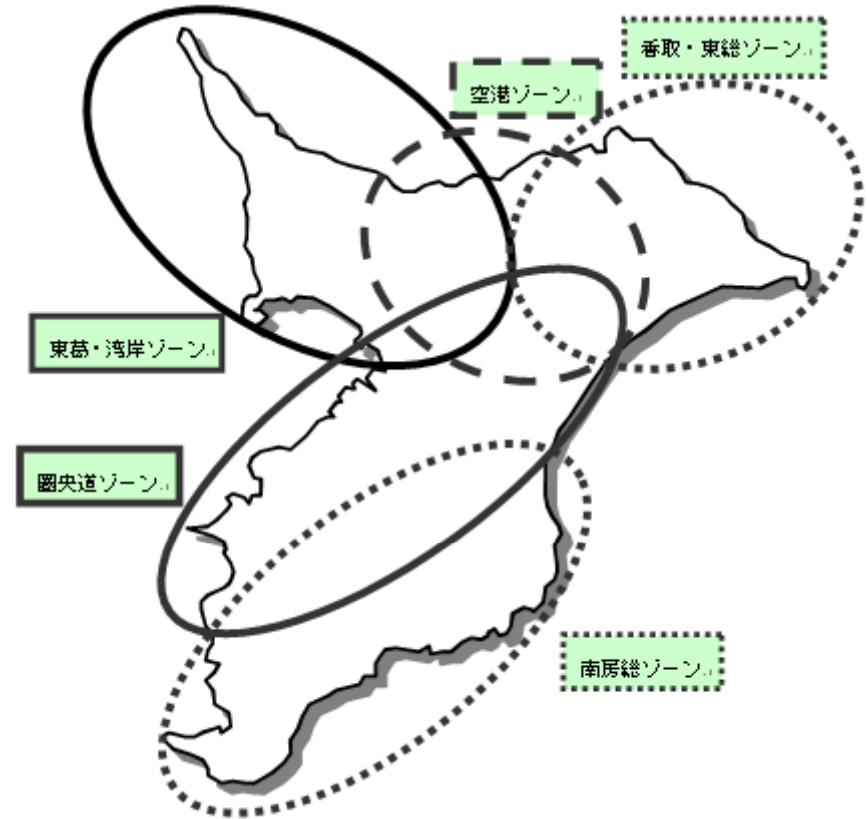
北総・・・成田市、佐倉市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町及び芝山町

千葉東部・・・銚子市、茂原市、東金市、旭市、匝瑳市、山武市、大網白里市、東庄町、九十九里町、横芝光町一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町

かずさ・臨海・・・木更津市、市原市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市

南房総・・・館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町及び鋸南町

第4次千葉県国土利用計画の変更案



※各ゾーンは以下の市町村を中心としています。

東葛・湾岸・・・千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市

空港・・・成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町及び芝山町

圏央道・・・木更津市、茂原市、東金市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町

南房総・・・館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町及び鋸南町